

閉鎖式パル輸液セット
(フィルター付)

薬剤部調製用(医師は投与量入力不要)

患者ID @PATIENTID

患者氏名 @PATIENTNAME

診療科 @USERSECTION 医師名 @USERNAME

レジメン開始予定日(必ず入力) 年 月 日

ベクティビックス・FOLFIRI療法		14日/1コース
		5-FU 急速静注 15分
	I-LV	
パニツムマブ	CPT-11	5-FU CVCポートより46時間持続
60分	120分	
【参考】	ベクティビックス	6mg/kg/day 投与間隔は2週間以上
	レボホリナート	200mg/m ² /day
	カンプト	150~180mg/m ² /day →初期設定: 150
	5-FU	急速静注 400mg/m ² /day
		持続静注 2400mg/m ² /day

*レジメン開始後、投与スケジュール変更(休薬・減量等)コメント欄

*メインルート、側管ともに点滴ポンプを使用すること。				
*ベクティビックスはインラインフィルタを使用すること。				
※day1のイメンド(125mg)は処置、day2・day3のイメンド(80mg)は処方				
day01				
療法プロトコール				
Rp.	イメンド	125mg	朝	内服処置
Rp.1	生理食塩液	100ml		
	グラニセロン1mg	1A		
	デキサート	1A	30分	点滴
Rp.2	生理食塩液	100ml		
	ベクティビックス	()mg	1時間	点滴
Rp.3	5%ブドウ糖	250ml		
	レボホリナート	()mg	2時間	点滴
Rp.4	5%ブドウ糖	250ml		
	カンプト	()mg	2時間	点滴
Rp.5	5%ブドウ糖	100ml		
	5-FU	()mg	15分で	急速静注
Rp.6	生理食塩液	50ml	15分	点滴
Rp.7	生理食塩液50ml	50ml★		
	5-FU	()mg		
インフューザーポンプより 46時間持続				
14病日に休薬完了				
★「(フリーコメント)生食で全量100mlにする」→薬剤部で生食を必要量採り、全量100mlに調整する				
全量を変更する場合は、★の生食の投与量を変更し、フリーコメントを行削除する				